

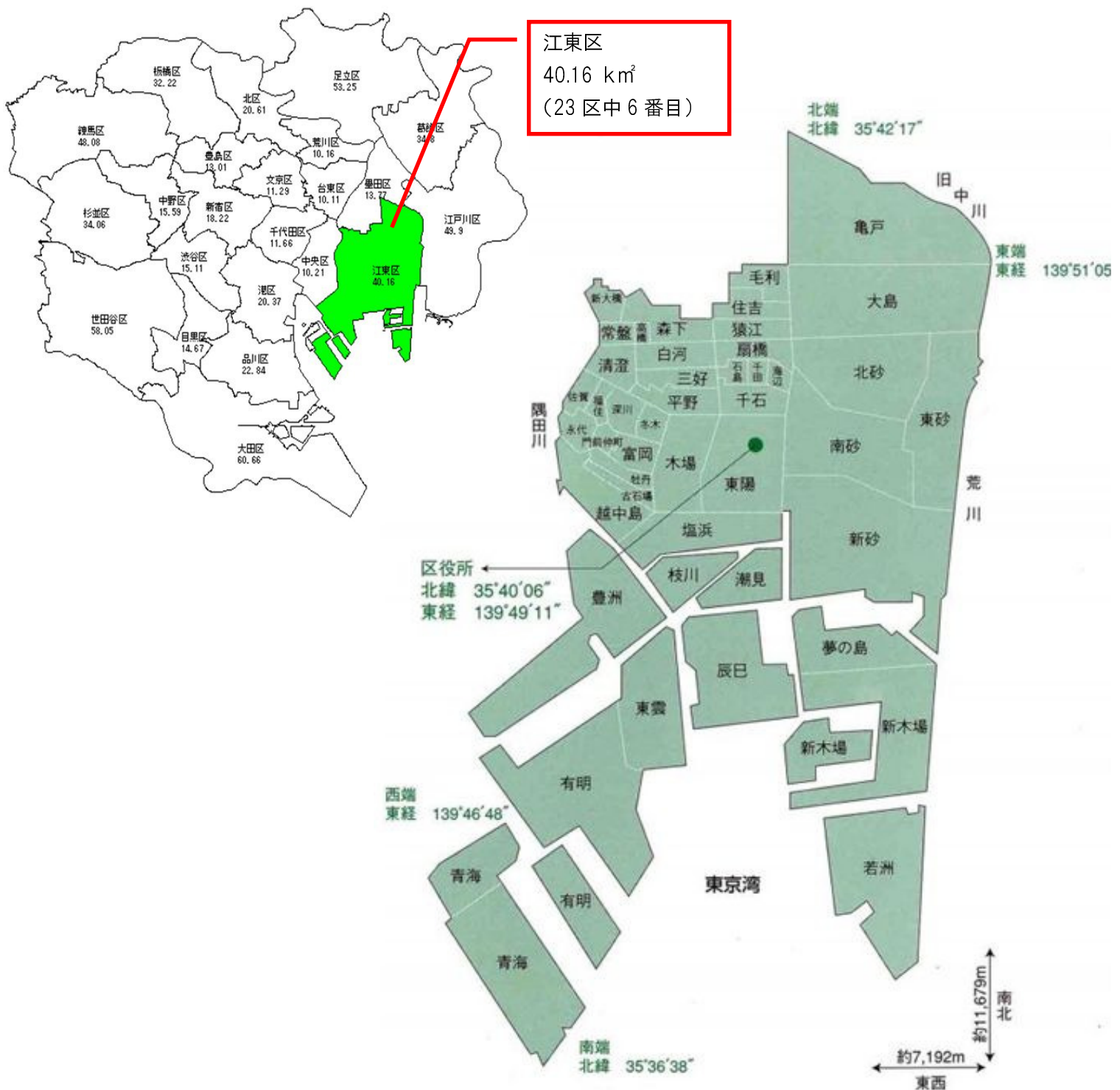
江東区の概要について

1. 地域特性

江東区は、東京湾に面し、その内陸部において、首都圏の主要工業地帯の一翼を担い、住・商・工の「混合」地域として発展してきた。

昭和 40 年以降には、工場の区外転出による跡地への集合住宅建設が進み、「住宅」都市としての性格を併せもつようになった。近年は、副都心・臨海副都心構想の影響もからみ、「業務」機能が拡大・進出するとともに、「スポーツ・レクリエーション」機能も拡大している。

このように江東区は、大都市東京の臨海部に位置付けられ、様々な都市問題を抱えながらも、東京とともに発展してきている。



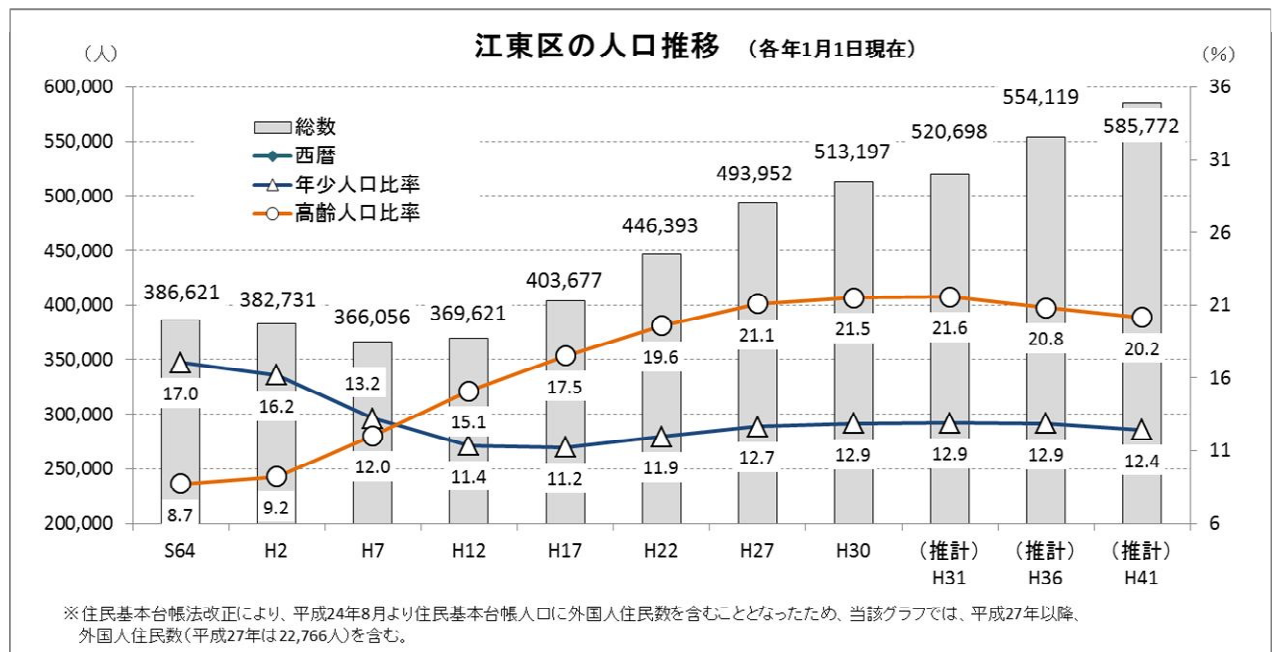
2. 区の概要

平成 30 年 1 月 1 日現在

区制執行年月日		昭和 22 年 3 月 15 日
人 口		513,197 人 (8 位/23 区)
うち外国人住民数		27,898 人
面 積		40.16 km ² (6 位/23 区)
世 帯 数		262,988 世帯
産業別人口 (27 年国勢調査)	第一次	160 人 (0.08%)
	第二次	34,048 人 (16.90%)
	第三次	167,231 人 (83.02%)
	総数	201,439 人 (100.00%)

人口は、平成 27 年 6 月 12 日に
50 万人を突破
500,033 人(6/12 時点)

3. 区の人口推移・地区別人口



《地区別人口(平成30年4月1日現在)》

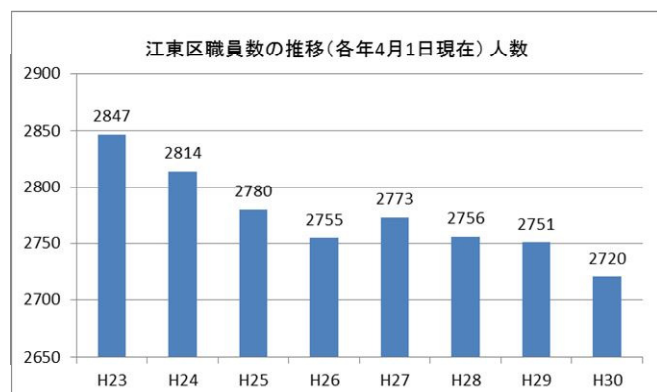
(単位:人)

白河	富岡	豊洲	小松橋	東陽	亀戸	大島	砂町	南砂	計
47,190	36,191	117,488	34,299	35,403	60,488	62,775	76,623	44,075	514,532

4. 区の職員

平成 30 年 4 月 1 日現在

区長部局等関係職員	2,525 人
学校関係職員	195 人
計	2,720 人



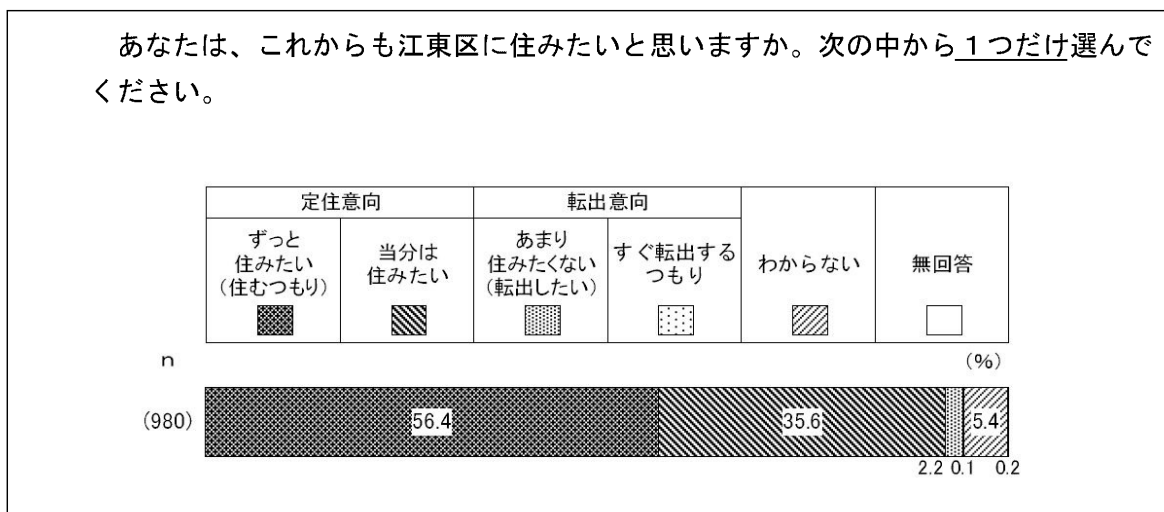
5. 区の財政（平成 30 年度当初予算）

区分	平成 30 年度	平成 29 年度	増 減 額	増減率 (%)
一般会計	1,929 億 5,200 万円	1,996 億 4,200 万円	△66 億 9,000 万円	△3.4
国民健康 保険会計	542 億 5,600 万円	631 億 9,900 万円	△89 億 4,300 万円	△14.2
介護保険 会 計	344 億 6,600 万円	313 億 9,700 万円	30 億 6,900 万円	9.8
後期高齢者 医療会計	96 億 5,000 万円	91 億 3,100 万円	5 億 1,900 万円	5.7
計	2,913 億 2,400 万円	3,033 億 6,900 万円	△120 億 4,500 万円	△4.0

6. 区民意識〔江東区政世論調査（平成 29 年）より〕

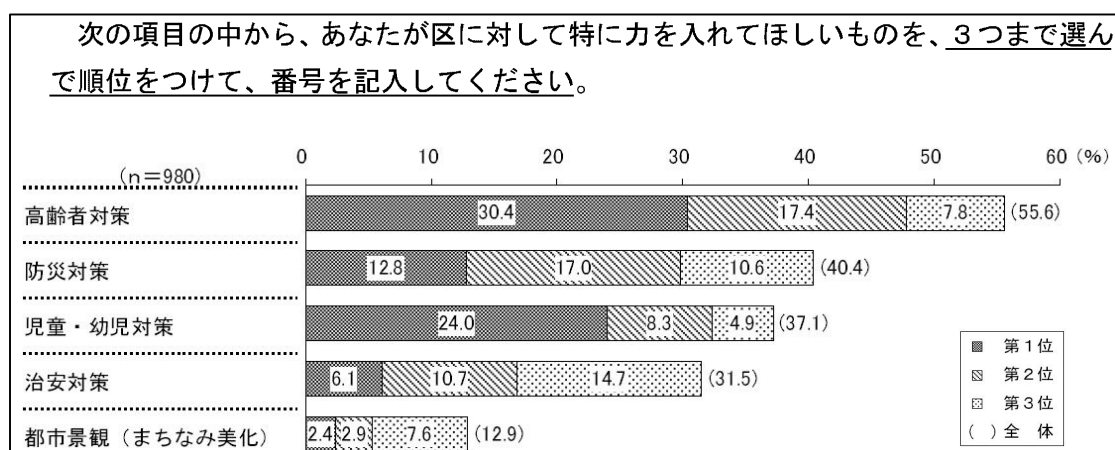
(1) 定住・転出意向・・・定住意向はほぼ 9 割

定住・転出意向については、「ずっと住みたい（住むつもり）」（56.4%）と「当分は住みたい」（35.6%）の 2 つを合わせた《定住意向》は、ほぼ 9 割（92.0%）となっている。



(2) 施策への要望（力を入れてほしい施策）・・・「高齢者対策」がほぼ 5 割

区に対して特に力を入れてほしいものを第 1 位から第 3 位までを累計した《全体》でみると、「高齢者対策」（55.6%）がほぼ 5 割で最も多く、次いで「防災対策」（40.4%）、「児童・幼児対策」（37.1%）、「治安対策」（31.5%）と続いている。



7. 当面の課題

(1) 重要課題

江東区では、次に掲げる2つの課題について、まちづくりに大きな影響を与える重要課題として、状況の変化を的確にとらえ適時適切に対応します。

① 築地市場の豊洲移転整備

② 中央防波堤埋立地の帰属

(2) 重点プロジェクト

江東区では、次に掲げる7つの事業を、長期計画（後期）において特に重点的に取り組むべき「重点プロジェクト」と位置づけ、着実な実施を図ります。

① オリンピック・パラリンピック開催への準備

オリンピック・パラリンピックに伴う事業の財源として新たに基金を設置し、気運醸成やおもてなし、スポーツの振興、観光施策の推進、まちづくり等の施策に活用するなど、オリンピック・パラリンピックの大会成功と江東区のさらなる発展に向け、必要な施策に取り組めます。

② 南部地域における公共施設の整備

南部地域での人口増に対応するため、人口動向を注視しながら、必要な公共施設の整備について検討を進めます。

③ 緑化・温暖化対策の推進

緑の中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現を目指します。

④ 子育て・教育環境の整備

実質的待機児童の解消を目指します。

人口増に対応した小中学校の適切な整備を進めます。

⑤ 高齢者・障害者関連施設の整備

区内16か所目の特別養護老人ホームの整備を推進します。

⑥ 南北交通の利便性の向上

区の南北を結ぶ交通網の利便性を高めるため、国や都、鉄道事業者等と緊密に連携し、地下鉄8号線（有楽町線）「豊洲－住吉」間の延伸の実現を目指します。

⑦ 災害に強いまちづくりの推進

防災施設の整備等により、防災都市江東の推進を図ります。

木造住宅密集地域の不燃化を促進します。